

水道施設の点検を含む維持・修繕の実施に関する新技術について

- 水道施設の点検を含む維持・修繕の実施にあたっては、新技術を積極的に活用し、水道施設を良好な状態に保ちつつ、長寿命化を図ることが重要である。
- 厚生労働省では、「水道施設の点検を含む維持・修繕の実施に関するガイドライン」において水道事業者等に新技術の採用を促しており、今後、新技術の導入を推進するため、先進的な新技術の導入事例に関する詳細調査を行う予定。また、(公財)水道技術研究センター(JWRC)と連携し、新技術を用いた具体的な点検方法や活用事例を事例集として取りまとめる予定。

■新技術の活用イメージ

振動センサーを活用した水道管の漏水検知システム



出典:株式会社日立製作所提供

ドローンを活用した点検を行う技術



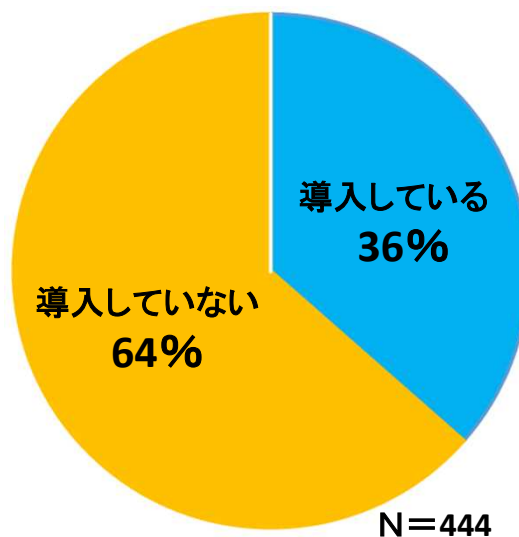
出典:堺市上下水道局提供

タブレット等の端末を活用した維持管理情報等を管理する技術



出典:厚生労働省資料

■水道施設の点検を含む維持・修繕にかかる新技術を導入している水道事業者等の割合(令和元年5月調査)



対象期間:平成29年から30年度まで

調査対象:大臣認可の水道事業者等(上水道事業者及び水道用水供給事業者)
ただし、施設を保有しない1事業者(富山県東部水道用水供給事業)を除く
444事業者

回収率 :100%